

No.29 平成20年11月11日

摂
南
土木会

摂南大学 土木会会報

発行所 摂南大学土木会
〒572-8508 寝屋川市池田中町17-8
摂南大学都市環境システム工学教室内

TEL.072-839-9117
FAX.072-838-6599

都市環境システム総合コースがJABEE認定!!

CONTENTS

■会長の挨拶

森 俊介 (会長)

—「安・近・短」の卒業生会で—

■学科長の挨拶

伊藤 譲 (都市環境システム工学科 教授)

— JABEE認定のご報告 —

■2002年～2008年度入学生の

一・二級建築士受験資格について[ご注意!!]

■摂南大学土木会 決算書・予算書

■研究室便り:生態環境学研究室

■教室だより

■同窓会報告

殿村 孝 (高専昭和43年卒)

伊勢木 祥男 (摂大平成19年卒)

■就職状況

本年度の就職状況

— キャリアデザインの重要性 —

■事務スタッフ紹介

■準会員のページ

勉強にも

クラブにも熱中!

■卒業生から近況報告



[摂南大学入試部提供]

会長の挨拶

こんな時代だからこそ

「安・近・短」の卒業生会で

がんばる勇氣と元氣を！



会長 森俊介 (摂大昭和55年卒)

報徳学園中学校・高等学校 教諭

会員の皆様におかれましては、益々ご健勝にて活躍のこととお喜び申し上げます。日頃のご支援ご協力に心から厚くお礼申し上げます。

暑いこの夏を乗り切るため、元氣の出る食べ物「魚」のウナギを頂きました。ところが、過去の学習能力が足りないのか、喉もと過ぎれば...とはいませんが、またまた騙されました。日本の消費者は某大臣から「やかましい」と煙たがられていますが、思い出してしまうのです。あの日以来の出来事を...

「念願叶って「ビューザー」のマンションを買い、出張で「アパホテル」に泊まり、「不一家」のケーキを食べながら、「あるある大辞典」を見て納豆を買って帰る。家では父が訪問介護大手の「コムスン」のお世話になり、長女は「ノバ」で駅前留学。長男は大手「流電器メーカー」で知らずに「偽装請負」。おやつにお土産に頂いた「白い恋人」を食べ、夕飯に「ミートホープ」のコロッケ、食後に「赤福」を食べる。風呂上りに「比内鶏社」の比内地鶏で一杯呑んで寝る。明日は奮発して「吉兆」へ行こう。斯くいう

私は、大分県の小学校教員です。嗚呼...この時世どうなっていくのでしょうか。」

実感のない好景気から、気がつけば、原油高に始まる材料価格の高騰、生活用品の物価高で景気後退期に突入。金儲け第一主義の不正・偽装問題は止まるどころを知らません。だからこそ、「品物に粗末のなきを忠といひ高利とらぬを義とはいふなり」

「買う人の心になりて利は薄くよき品売るがあきうどの道」

こんな言葉が大切なのではないのでしょうか。

苦しく辛いときこそ、同窓会・会員全ての「徳」で癒されたいものです。恩師・仲間に出会っての安心、親近感、短時間で何十年もの昔に戻る場。こんな時代だからこそ、「安・近・短」の卒業生会に参加して、がんばる勇氣と元氣を分かち合いたいものです。

[摂南大学土木会] 平成19年度 決算書・平成20年度 予算書

平成19年度決算は表1のとおりであり、監査を経て、平成20年6月の役員会で収支とも相違ないことが認められた。また、平成20年度予算は表2に示すとおりである。

表1. 平成19年度決算

収入の部		
科目	予算	決算
前年度繰越金	741,186	741,186
正会員入会金 87名	435,000	435,000
準会員会費 54名	0	270,000
広告料	240,000	318,320
預金利息	46,510	47,720
名簿売上	3,000	0
雑収入	0	229,320
合計金額	1,465,696	2,041,546
支出の部		
科目	予算	決算
事務費等	40,000	77,930
総会費	300,000	299,771
名簿追加修正費	20,000	25,000
会報発行費	810,000	738,920
同窓会補助	30,000	20,000
役員会・評議員会費	30,000	38,623
特別講演会	150,000	120,000
慶弔費・見舞金	80,000	121,539
雑費	5,696	1,500
次年度繰越金	0	598,263
合計金額	1,465,696	2,041,546

表2. 平成20年度予算

収入の部	
科目	予算
前年度繰越金	598,263
正会員入会金 81名	405,000
準会員会費 79名	395,000
広告料	310,000
預金利息	5,000
名簿売上	3,000
合計金額	1,716,263
支出の部	
科目	予算
事務費等	50,000
名簿追加修正費	50,000
会報発行費	800,000
同窓会補助	50,000
役員会・評議員会費	100,000
特別講演会	250,000
慶弔費・見舞金	100,000
雑費	50,000
予備費	266,263
合計金額	1,716,263

平成20年3月31日現在 特別積立金440万円 平成20年4月1日現在 特別積立金440万円

摂土会総会報告

平成19年度通常総会

東亜建設工業(株) 大阪支店 京滋営業所長

代表幹事 新井 栄作 (摂大 昭和60年卒)

平成19年度の土木会総会は昨年12月1日(土)、午後より摂大寝屋川キャンパス12号館にて、多数の出席者の中で開催されました。

総会に先立ち準会員(在学生)対象の特別講演会として如水館高等学校教諭の宮崎守先生(摂大平成1年卒)による「夢を現実に一甲子園への道」と題するご講演を頂きました。さらに、正会員を対象として(株)浪速技研コンサルタント顧問の長江哲生先生による「アウトサイダーが歩いた土木の世界」と題するご講演を頂きました。

総会は森会長の挨拶に始まり、西川朝彦氏(高専48年卒)の司会で荒瀬美喜氏(高専44年卒)と木下幸佐氏(摂大57年卒)の両氏を議長団に選出し、平成18年度事業報告・決算報告及び平成19年度の事業計画・予算案について審議され、それぞれ原案通り承認されました。

また、摂土会の会則の一部変更について、副会長の藤田孝志氏(摂大55年卒)から一部変更の説明がありました。①会費について正会員は卒業時に入会費1万円を納入しなければならない。②功労者表彰規模について準会員は学業および個人の活動で功績のあった者を表彰する(追加)。

総会後は11号館において懇親パーティーが盛大に開催されました。開催に先立ち、「津堂城山太鼓保存会」による和太鼓の演奏で幕を開け、ご来賓の各先生方から土木会に対して、ご祝辞と激励のお言葉を頂戴いたしました。会員相互の親睦を深め、終始和やかな雰囲気の中で、次回(平成21年)の再会を誓って閉会いたしました。



和太鼓演奏会



準会員向け特別講演会(宮崎氏)



正会員向け特別講演会(長江氏)



生態環境学研究室

都市環境システム工学科 講師 石田 裕子

本年4月から都市環境システム工学科に着任しました石田裕子です。土木会会員のみならず、よろしくお願い申し上げます。4月にこちらに参って以来、講義・実験・卒業研究と目まぐるしくも充実した日々を過ごさせていただいております。

さて、この度は「生態環境学研究室」という名前のゼミを立ち上げさせていただきました。旧土木工学科で「生態」などとは不思議に思われるかもしれませんが、元々私は農学部出身でして、主に河川に生息する淡水魚について研究していました。

卒業研究では、多自然型工法によって改修された三面張りコンクリートの農業用水路にどんな魚が集まってくるのかを調べました。

修士に進んでからは、淀川と木津川(京都府)で、ある種の魚(ヨシノボリ類)が河川内のどういった環境を息場として利用しているのかを研究していました。そして、京都大学防災研究所水資源研究センター(当時)に博士課程の学生として進学してからは、工学部(しかも土木)ということもあって、河川の物理構造と魚類の対応関係についての研究を行い、博士論文では河川の土砂堆積構造から魚類の息場を評価する方法を確立しました。このように、土木とは言いましても、河川工学と生態学の境界領域の研究を専門としています。ポスドク研究員、専門学校講師を経て、今回ご縁があって呼んでいただきました摂南大学におきましても、「環境」と名を冠した学科にふさわしい研究室活動・卒業研究を行いたいと存じます。

卒業研究では、他の先生方と同様に7名の学生を担当させていただいています。大きく「河川」、「里山」、「ビオトープ」にテーマを分けて、それぞれ研究を進めています。河川班は、水理学的計算に基づいた簡単な自然再生を行うことによって、生物の息場を創出することを目的としています。里山班は、市民団体「ねや川水辺クラブ」のご協力をいただき、寝屋川という河川の源流にある里山の管理方法について研究しています。ビオトープ班は、学内ビオトープの管理はもちろんのこと、寝屋川市立第二中学校と連携して、中学校に新たなビオトープをつくっています。どの班も調査や作業は野外ですが、データの解析などは室内になりますので、卒業生たちは野外活動での体力とパソコンに向かって作業するという忍耐力を、日々鍛えられています。彼らは卒業研究のほかに、淀川愛好会などの地域連携活動にも積極的に参加してくれています。学生のうちから社会と関わりながら学んだことを、卒業後の将来にぜひ活かしてほしいと思います。

私が本学に来て感じているのは、規模の小さい大学のためか、非常に学生と教員との距離が近いということです。少人数ゼミは本学の特徴であり、今の学生の教育にとってよいことだと思います。現在、私は主に1年生の講義と実験を担当していますが、講義以外の時間にも質問に来てくれたり、実験のときも作業は真剣ながら和気あいあいとした雰囲気絶えません。学生が楽しく学び成長し、社会人として旅立っていく(これは決して学生に楽をさせることではありません)、そういった環境作りを微力ながら力を尽くす所存です。土木会のみならず、今後ともご指導、ご支援の方よろしくお願ひいたしまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

私が本学に来て感じているのは、規模の小さい大学のためか、非常に学生と教員との距離が近いということです。少人数ゼミは本学の特徴であり、今の学生の教育にとってよいことだと思います。現在、私は主に1年生の講義と実験を担当していますが、講義以外の時間にも質問に来てくれたり、実験のときも作業は真剣ながら和気あいあいとした雰囲気絶えません。学生が楽しく学び成長し、社会人として旅立っていく(これは決して学生に楽をさせることではありません)、そういった環境作りを微力ながら力を尽くす所存です。土木会のみならず、今後ともご指導、ご支援の方よろしくお願ひいたしまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

教室だより

今年度、都市環境システム工学科には、1年次98名(2名)、2年次91名(3名)、3年次88名(7名)4年次85名(6名)で合計362名(18名)の学生が学んでいます。大学院の社会開発工学専攻における都市環境システム工学科出身者は、1年次に4名、2年次に6名、合計10名です。なお、括弧内の数値は女子学生数を示します。

一方、教職員は専任12名、非常勤講師21名、事務スタッフ4名で、総勢37名の陣容で教育・研究の指導に当たっています。都市環境システム工学教室の近況は次のとおりです。

- ①今年度から、伊藤謙教授が学部長として学科の運営に当たっています。
- ②澤井教授が学生部長の任に当たっています。
- ③石田裕子講師が新任教員として着任されました。
- ④来年度卒業見込み85名は、徐々に就職先の内定を得るようになっております。
- ⑤教室では、昨年度、JABEE(日本技術者教育認定機構)の認定審査を受審し都市環境システム総合コースが、2年間の認定を受けました。卒業生の皆様のご協力を感謝するとともに、今後の一層のご支援をお願いする所存です。(熊野記)



学科長挨拶

JABEE認定のご報告

都市環境システム工学科 教授 伊藤 謙

本年四月より学科長を拝命しました。微力ですが、全力で責任を全うするつもりです。皆様方のご支援を心からお願い申し上げます。

本学科における最近の明るいニュースは、都市環境システム総合コースが、2008年5月8日付けで日本技術者教育認定機構(JABEE)より認定を受けたことです。これにより、総合コースの学生は、卒業後にJABEE認定プログラムの修了生(修習技術者)として技術士第一次試験が免除され、卒業後の登録により技術士補の資格を得ることもできるようになりました。JABEEの教育プログラム認定の目的は、大学の教育レベルの向上にあり、教育プログラム認定を通じて学生中心の教育システムへと改善することに主眼があります。個性・独自性があり、質の高い技術者を育成できる教育システムが整備され、常に改善向上が図られているのが審査されます。

教育システムが社会から認知されたと理解しています。これは、2002年の学科再編前後からの諸先生方の並々ならぬ努力、摂土会を始めとする高専時代からの諸先輩方の全面的な御協力なしでは達成できなかったものです。この場をお借りしてお礼申し上げます。なお、今回の認定は2年間の期限付きであり、2009年度には中間審査を受け、さらに3年間の認定を受ける予定です。ここ数年間の教育システムの改善の例として、主要専門科目のクラス分け、演習・実験・実習科目の履修促進、英語共通試験の実施(TOEICブリッジ)、工学部教育センターの拡充などがあります。今後は、在学中に土木・建築施工管理技術試験(教科のみ)、公害防止管理技術者試験等の合格者を輩出するべく、さらなる教育改善を行っていく所存です。今後とも皆様方の一層のご支援をお願い申し上げます。

2002年~2008年度入学生の一・二級建築士受験資格について

この間の入学生は、現段階で「二級建築士の受験資格が、1年間の実務経験の後に得られる。」ことになっていますが、一級建築士資格を直接受験することはできないのでご注意ください。

2005年の建築構造計算書偽装問題による建築士制度への信頼性回復のため2006年12月に建築士法が改正されるなど、建築士の受験資格が大きく変わろうとしています。

従来の建築士法では「建築又は土木の課程を修了後、2年以上の実務経験」で一級建築士が、「1年以上の実務経験」で二級建築士試験の受験資格が得られることになっていました。

ところが、2005年に都市環境システム工学科として、土木工学科時代と同じ受験資格を得るべく国土交通省に申請交渉を始めた直後に偽装問題が発生して、申請交渉が中断した状態が続いてきました。今春より、土木学会の仲介を得て、国土交通省との交渉を再開して下表の条件で折衝中です。

なお、下表の条件で申請が認められると、「卒業後又は科目履修生としてこれら科目の単位取得後、2年間の実務経験」で一級建築士を受験することができます。

しかし、現時点では交渉が難航しているので、一級建築士を目指す方は二級建築士の資格取得から始めることを勧めます。

都市環境システム工学科 一級建築士受験資格 認定条件(交渉中) ※1

入学年度	対象者	一級建築士受験資格条件(卒業後2年間の実務経験の後)
~2001	土木工学科卒業生	(今回申請の対象外=従来どおり)
2002	都市環境システム工学科 卒業生	2008年以降に「建築製図」又は「建築設計製図」を科目履修生として単位取得する。※2
2003		2008年度開講の「建築製図」又は2009年度以降に開講の「建築設計製図」を単位取得して卒業する。または、卒業後※2に「建築設計製図」を科目履修して合格する。
2004		
2005		
2006		
2007	現2年	2009年度以降に開講の「建築設計製図」を単位取得して卒業する。または、卒業後※2に「建築設計製図」を科目履修して合格する。
2008	現1年	

※1:2008.10.5の時点では認められていないので注意して下さい。
 ※2:卒業後に対象科目の単位修得を行った場合、実務経験の起算日は対象科目の単位取得時となる。

還暦同窓会

殿村 孝(高専昭和43年卒)

高専昭和43年卒業生が還暦同窓会を平成20年1月26日から27日にかけて南紀白浜温泉で行いました。
会場の白浜御苑に午後3時に集合し、ゆつくり温泉につかりながら来し方を語り合う姿にはしばし温泉で傷を癒す戦士の趣が感じられました。
井上、藤倉両先生の参加を頂き、遠く千葉県からはせ
参じてくれた友
もいて14名のクラ
スメイトは学生時
代に戻って、酒宴
にカラオケに夜遅
くまで盛り上が
りました。



熊谷ゼミ10周年記念パーティー報告

伊勢木 祥男(榎大平成19年卒)

平成20年8月9日、大阪丸ビルの「バリラックス」にて、熊谷ゼミ10周年を記念したパーティーが開催されました。
パーティーには関西はもとより、愛媛、高根、東京などから総数47名が参加し、先生への各代の挨拶や多くのイベントが行われ、大いに盛り上がりました。
各代の挨拶では、講義中に教室の外で騒いでいる学生に向かつて怒鳴りちらしていたという思い出話などはじめ、私たちが知らない熊谷先生の一面をうかがう話が多くありました。また、極秘に入手した先生の子供のころの写真を、サプライズで発表するなど、幹事一同で考えたさまざまなイベントが執り行われました。紙面の都合上、すべてを語ることはできませんが、出席者は久しぶりに会う方々も多く、学生時代の思い出話を花を咲かせていました。世代の垣根を越えた交流もでき、充実した記念パーティーになったと感じています。

こうして無事に開催することができたのも、お忙しい中、ご尽力いただいた多くの先輩方のおかげです。今回を機に10年、20年先も同じような場が開かれ、熊谷先生やともに過ごした先輩方、同輩、後輩達と語り合えたらと思います。
最後にになりましたが、この度の記念パーティー開催にあたり、ご支援いただきました南大学土木会には、この場を借りてお礼申し上げます。



就職状況

本年度の就職状況 — キャリアデザイン的重要性 —

都市環境システム工学科 教授 梶川 靖治

現在のわが国はガソリンをはじめとする諸物価の高騰により非常に厳しい社会情勢にあり、また特に、公共事業費削減の長期化、談合等に対する国民の不信感、ガソリン税暫定税率の失効による地方公共団体を中心とする公共工事の執行ストップなど、土木建設業界を取り巻く環境は一層厳しいものとなっております。

このような中、企業の厳選採用の方針に変わりはなく、今年度の雇用環境そのものはまだそれほど悪化していません。これまで学科にいただいた求人数は約300件あり、まりとほぼ昨年度並みとなっております。

本年度の学生の就職に関する指導、支援業務は、平城准教授と私、梶川が担当しております。9月1日現在の進路内定状況は、学部4年次生84名中67名(79.8%)、大学院2年次生6名中4名(66.7%)で、全体では90名中71名(78.9%)となっております。内定者71名の内訳は、公務員、公共事業者、鉄道、道路等やゼネコン、建設コンサルタントなどのいわ

ゆる土木業界が合わせて43名(61%)、一般ビル建築やハウスメーカー、不動産などの建築業界が22名(31%)、そして土木建築以外の業界が6名(8%)となっております。この数年多少の変動はありますがほぼこのような傾向が続いております。

大手企業の求人活動の早期化に伴い、昨年度よりも学生諸君の就職活動が若干前倒しに活発化したこともあって、内定率が昨年比で約5ポイント程度高くなっております。本学科の就職状況は比較的順調に推移しております。

このような中でも、始めからはっきりとした目標あるいは志望動機を持って就活に臨んだ学生諸君は早々に内定を得ておりましたことから、やはり初年次からのキャリアデザインの重要性がますます増しております。冒頭に述べましたように土木建設業界はまだしばらく厳しい状況が続くようですので、今後とも会員の皆様方より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■事務スタッフ紹介

● 井爪 博美 ● 立川 啓子

今年度から都市環境システム工学科の事務スタッフとして学科の運営をサポートしていただいている井爪博美さんと立川啓子さんです。

「都市環境システム工学科の運営のお手伝いを精一杯頑張ります。C科共通準備室で執務していますので気軽にお声掛けください。よろしくお願いたします。」



井爪 博美



立川 啓子

「課外活動と勉学の両立」で成功している学生を紹介します。

勉強にも クラブにも 熱中!

◎都市環境システム工学科 4年生

朝岡 尚子

私が大学で吹奏楽部に入ったのは勉強も大事ですが、もっと別のことで自分を成長させたかったからです。大学では高校までとは違い学生が主体となり部活を運営します。そのためぶつかる時もありますが、自分で考えて行動する力が身についたと思います。また、私は昨年部長という立場になり、入学式や卒業式、オープンキャンパスなどで演奏をして「摂南大学に入ってよかった」、「摂南大学に入りたい」と思



「吹奏楽部」所属

てもらえるよう部員と協力し、時には率先して私たちの想いが伝わるようがんばってきました。常に、大学側や多くの方に援助してもらっているという感謝を忘れずに、これからも期待に応えられるような活動をしていきたいです。



◎都市環境システム工学科 3年生

灘岡 弘二

私は写真部で部長を務めさせていただいています。写真部では他のクラブ団体、主に体育会系の部から活動写真の撮影の依頼



「写真部」所属

があります。そのため、クラブに入ってからには沢山のの人たちと出会い、友人を増やすことができ、世界観が広がったと思います。私たちは、依頼を受けたクラブ団体の活動風景を撮り、その写真を展示し学内、学外の人に見てもらうことにより摂南大学が、明るく、活発的な印象になるよう心掛けてカメラを握っています。自分が撮影した写真が大学の資料や、学内の掲示板などに採用されたときはとてもうれしかったです。私が部長を務めている間に摂南大学の事をもっと多くの人に知ってもらえるよう写真を撮り続けたいと思っています。



◎都市環境システム工学科 3年生

池田 達也

私は、文化会本部に入り文化会本部長を務め、より活気あふれる大学になるよう活動しています。例えば、文化系のクラブの新入部員を集めてクラブ同士の関わり



「文化会本部」所属

を深められるようフレッシュマンキャンプを行いました。また、献血活動に協力してくれるよう毎年、赤十字さんと共に学生みんなに呼びかけています。私は、文化会本部長として文化会全体をもっと明るく、そして各部がもっと幅の広い活動が出来るようになればと思、大学の昼休憩の時間を活用し、文化系クラブによるステージを行いました。ステージ周辺は学生で被いつくされ、私の目には文化系のクラブも大学も活気あふれるように映りました。文化会本部長の仕事はとても大変ですが、苦労した分、自分自身成長したのではないかと思います。



◎都市環境システム工学科 2年生

井関 将基

近年、きれいな水の不足と汚れた水の浄化に関心が高まっており、エコシビル部は、水問題に取り組んでいます。具体的には、休日を利用して、淀川河川敷の調査や清掃を行っている団体に協力して、一緒に清掃をしています。ごみを集めた後、きれいになった河川敷を見ると、とても良い気持ちになります。また学内に設置している、水の浄化装置の清掃も行っています。

さらに、Eボートという10人乗りの手漕ぎのゴムボートを保有しており、大阪府や近県の河川で行われるイベントにボートを出します。エコシビル部員は、参加者の乗船の補助とライフジャケットの配布を担当し、安全に楽しんでもらうよう配慮しています。参加された皆さんが、イベントを楽しまれ、少しでも河川に関心を持ってくれれば、うれしく思います。各イベントでは、多くの方と交流することが出来、水と地域への有意義な活動であり、社会貢献になっていると感じています。



「Ecoシビル部」所属

僕たちが
取材しました!



編集後記：このページは学生である私たちが作成したものです。会報企画はOBの方々や先生方が主体で作成されていましたが、学生の視点に立った意見も取り入れ、「もっと幅広い世代に会報誌を見てもらいたい」という意見から始まり、会報の一部分を学生が受け持つことになってから今年で3年目になります。内容の作成にあたり、多くのことで苦労しましたが、先生方、学部生のご協力を得てここまで作成することができました。この場を借りてお礼申し上げます。これから先も、次の世代の学生たちがこのページを作り上げていくわけですが、私たちが作ったものを礎に、より良いものへと発展させていってくれることを切に願っています。

準会員のページ製作委員 (左から) 水野 哲人 / 毛戸 久仁 / 中川 佳祐 / 今村 文哉 / 村田 達介

卒業生から近況報告

新たな環境への適応

川崎地質(株) 西日本支社長
長岡京市役所
まちづくり推進室主幹

坂上敏彦(撰大昭和54年卒)



1979年(昭和54年)卒業後、大阪工業大学大学院を経て1981年(昭和56年)川崎地質株式会社に入社し、大

阪支店(現西日本支社)へ赴任した。

当時の関西圏では、関西国際空港や神戸ポートアイランド2期に代表される大型プロジェクトの計画が多く、1999年(平成11年)神戸空港着工に到るまで、阪神大震災の洗礼を受けつつ、理立造成に関連した調査計画や解析に携わった。この間、試験機器の開発で海外の文献を頼りに試行錯誤した経験や、パソコンを複数台利用して徹夜で解析した思い出が残る。当時のパソコンは遅くて暑い。

2002年(平成14年)に東京本社へ赴任し、6年間の東京生活を経て、今年、西日本支社へ戻った。東京本社では「土壌汚染対策法(平成14年)」、「公共工事の品質確保の推進に関する法律(品確法)(平成17年)」、「会社法(平成17年)」などの新しい環境への対応に追われた。

西日本支社では、調査・設計・環境など広範囲な業務を対象としている。このため複数の入札方式(プロポーザル方式、総合評価方式など)への適切な対応と共に、社内外を問わず異分野の技術者との交流を進め、個々の技術者が持つ技術の幅を広げようとしている。これは、性能規定型設計に見られるように、より広い自由度での確かな技術提案を行う必要があると共に、個々の技術者が、自己責任を問われる時代が到来しているからである。

大阪大学大学院より博士(工学)の学位を取得

ローマ帝国の都市計画

長岡京市役所
まちづくり推進室主幹

北村幸定(撰大昭和56年卒)



数年前、勤務先から大学院へ研修派遣の機会を得た。そこで私は公共事業評価に関する研究を深めようと思い込んでいた。

そして既往研究や課題を整理し、指導教官へのレクチャーに臨んだが、自身のオリジナリティのなさ、浅学さを思い知らされ、大きく落ち込んだ。そして、「もっと専門以外のことに興味をもたなきゃだめだ。政治、宗教、音楽、美術なんでもいい。」との先生の言葉に、すぐに洛北の円通寺まで自転車飛ばし、緑側で比叡山の借景をあてもなく日没まで眺めた。

そうしたら不思議なことに道が開けた気がした。その後は知的好奇心を最大化すべくあらゆる本を乱読した。同じ研究室の留学生たちと徹夜の議論も重ねた。その中で現代の日本社会とローマ帝国末期を比較した本に出会う。書には「民主主義は大衆迎合となり、やがて衆愚から国家の本質を見失う。」とあった。交易で豊かになったローマ帝国では、失業者たちに日々無料のパンを配り、コロシウムで見世物を楽しませ、夜には大衆浴場まで用意した。指導者たちはローマ固有の文化を捨てお隣のギリシャ文化の輸入に執心だった。結果、帝国の滅亡である。

そんな視点で今の日本のまちづくりをみると、流行りの住民参加は民主主義なのである。そして固有の美や文化を軽んじ西洋崇拜する傍ら「景観だ、色彩だ。街並みだ。」と理念なく騒ぐ現実を愚かに感じています。日本の都市計画の行く末を憂うこの頃である。(近況報告にかえて)

京都大学大学院より博士(工学)の学位を取得

混沌の向こうに

(株)オリエンタルコンサルタンツ 国土基盤事業部
構造グループ(関西支店駐在)

鄭勝仁(撰大平成5年卒)



学部卒業後、国内での学位取得、ソウルでのポストク期間として同地での建設コンサルタン卜勤務の後、昨年の6月に

日本に戻り現職についています。大学では橋梁構造物の上部工を中心とした要素技術開発ソフトの研究を中心に活動してきましたが、建設コンサルタン卜に活動の場を移してからは、道路線形・地盤条件の評価、基礎、橋脚の計画といった上部工だけではなく橋梁構造物全体の計画及び設計業務に携わっています。建設コンサルタン卜に求められる職能のひとつに、企画される構造物全体の構力があると思います。それ如何では計画構造の建設費や品質に影響を及ぼすことから、構力力は建設費で重要な要素に位置付けられるからです。近年厳しい国内公共事業の中で、道路橋設計案件では金額だけでは決まらない技術提案型の入札案件が増える向きにあり、コンプラ強化と相まって今後益々技術提案が重要視され、「建設コンサルタン卜の構力」が層間されるものと思われま

今、国内公共事業が厳しい状況に置かれています。当社でも安定した企業活動を継続させるために、この先の見えないピンチをチャンスに変えるべく社策が種々打たれています。先の「構力」強化もその内の一つです。一方、海外案件受注にもこれまで以上に積極的に乗り出そうとしています。国内公共事業に依存してきた建設コンサルタン卜が新機軸を打ち出し、何とか長いトンネルを抜け出して新しい局面へ向かう中、小生もその内の一人として現在精力的に活動しています。

山口大学大学院より博士(工学)の学位を取得

学生から慕われる教員を目指して

関東学院大学 工学部
社会環境システム学科 助手

田中賢太郎(撰大平成13年卒)



私は、平成13年に、摂南大学を卒業し、平成15年に摂南大学大学院を卒業いたしました。大阪府立大学大学院工学研究

科都市系専攻の後期博士課程に入学しました。それから平成18年に博士(工学)の学位を取得し、関西設計株式会社に入社して社会人としての第一歩を踏み出しました。2年間に在籍した関西設計株式会社では、建築物の設計業務に携わってまいりました。それから、現在勤務しております関東学院大学に移り学生教育に関わっております。今は、仕事内容としては、学科の運営補助と演習系、実験系の授業の担当およびサポートを行っています。主に、構造力学に関係する演習科目、構造実験および材料実験コンクリートの配合計算、打設、卒業研究を行っています。さらに、情報処理および演習、製図演習、CAD演習、測量実習等があります。卒業研究に関しても、これまで継続してきたテーマも含め、新しく始めたテーマを学生とともにチームとなって研究活動をしております。大学で仕事し思うことは、学生に問題を理解させる、自分なりの考えを持って行動させる等、課題はたくさんあります。そのため、自分自身も成長して努力し続けることが必要です。私の立場では、在籍している学生の個々の学力や人間としての成長の手助けしか出来ません。自分が関わった学生から慕われ頼られる教員になり、学生の人生的の中に、記憶に残る教員になりたいと考えています。

大阪市立大学大学院より博士(工学)の学位を取得

公共施設総合サービス業



株式会社 苅田建設工業株式会社

代表取締役 苅田 孝太郎

ISO9001 本社 〒660-0087
ISO14001 尼崎市平左衛門町18番31号
TEL (06)6419-2981 (代表)
ホームページ: <http://karitakenetsu.com>
三田営業所 三田市天神1丁目2-12
TEL (079)563-0095

KAIKEN-街づくりの総合コンサルタント
大規模開発 (住宅団地・工業団地) /
土地区画整理事業 / 建築設計 /
環境アセスメント

株式会社 開発計画研究所

業者登録
・建設コンサルタント 登録番号・建(19)第4364号
・一級建築士事務所 登録番号・茨城県第A0994号
・測量業 登録番号・建(5)-15601号
・補償コンサルタント 登録番号・補18第2949号

代表取締役 井上 忍
(昭和44年3月卒業)

事務所: 東京・水戸
TEL 03-5828-6855

株式会社 日照技術コンサルタント

建設コンサルタント(測量・設計・調査)

得意分野・基準点測量(世界座標系による)
・境界確定測量(民々境界、官民境界等)
・各種管理用平面図作成

代表取締役 市原 久照 (高専52年卒)
〒611-0041 京都府宇治市横島町月夜3の2
TEL: 0774-22-7137 FAX: 0774-22-4966
E-mail: nissho@cup.ocn.ne.jp

cosmotecosmotecosmotecosmotecosmotecosmotecosmo

地質調査、各種防災点検
土壌地下水汚染調査、地盤保証
各種構造物健全度調査 等

土に関することならなんでも!!

株式会社 コスモテック

代表取締役 田中 昌明 (48年卒)

本社 〒577-0824 大阪府東大阪市大蓮東1-5-33
TEL: 06-6729-0290 FAX: 06-6729-1780

奈良営業所 〒635-0833 奈良県北葛城郡広陵町馬見南1-3-18
TEL・FAX: 0745-55-4443

E-mail: cosmotec@pop06.odn.ne.jp
URL: <http://www2.odn.ne.jp/cosmotec>

cosmotecosmotecosmotecosmotecosmotecosmotecosmo



総合建設コンサルタント
設計・測量・調査・登記・計測

ISO 9001:2000 株式会社 エハラ
登録番号 MSA-QS-3315

代表取締役 江原 光治
(高専C47年卒)

本社 大阪府東大阪市永和2丁目13番9号
〒577-0809 TEL 06(6730)1500(代) FAX 06(6730)1300
E-mail: ehara@ehara21.co.jp
営業所 大阪・神戸・奈良・三重



明日の快適な環境づくりに貢献する
総合建設コンサルタント

Active [活動的] Speedy [敏速] Customer [顧客本位] Onward [前進]



株式会社 アスコ

本社 〒550-0006 大阪府西区江之子島1丁目10番1号
TEL 06-6444-1121 FAX 06-6444-1021
奈良支社 〒634-0813 奈良県橿原市四条町279-1
TEL 0744-21-0041 FAX 0744-21-0031
神戸支社 〒657-0841 神戸市灘区灘南通5-4-15
TEL 078-871-5611 FAX 078-871-5541
和歌山支店 〒640-8227 和歌山県和歌山市西汀丁26
TEL 073-433-7751 FAX 073-433-7702

[営業所] 名古屋・東大阪・奈良・香芝・五條・豊岡・姫路・京都北・京都市南・
岐阜・滋賀・京都・三重・名張・紀南・高松・徳島・久留米・静岡



KAMIMURA

株式会社 上村組

代表取締役 上村 丈司
(昭和54年卒業)

本社 〒639-0266
奈良県香芝市旭ヶ丘一丁目31番地の1
TEL 0745-76-7575 FAX 0745-77-1288
支店 〒639-0214
奈良県北葛城郡上牧町上牧3933
TEL 0745-76-6623 FAX 0745-77-9313



9001
14001



ベステック株式会社

未来のために今できることを、
ひとりひとりの技術と信頼のネットワークで社会に貢献します

■宅地完成設計、土地区画整理設計、道路設計、
公園設計、下水道設計など、土木設計業務全般

大阪府中央区天満橋京町1-24 ストック児島ビル
TEL 06-6945-5781 FAX 06-6945-5782

代表取締役 木下 幸佐 (撰大57年卒)

環境にやさしい水を創造する 総合コンサルタント

上水道・下水道の調査・計画・設計・施工管理



株式会社 都市建設コンサルタント

代表取締役 津田 勉 (高専43年度卒)



本社 〒551-0003 大阪市大正区千島1丁目14番13号
TEL (06) 6555-1661 (代) FAX (06) 6555-1441

営業所 神戸・岡山・和歌山・奈良

OGC



建設コンサルタント・補償コンサルタント・情報測量・情報管理
大島技術コンサルタント株式会社

本社 岡山県真庭市藤山上福田829-1
〒717-0602 ひるぜん TEL 0867-66-3673(代)
FAX 0867-66-3674
URL: <http://www.ogcflight.co.jp>



事業領域は、地球です。



地球と、ずっと。
国際航空株式会社
<http://www.earthon.co.jp>

大阪支店 / 〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目5番2号
TEL 06-6343-6981 FAX 06-6343-6980
西日本支社 / 〒560-0805 兵庫県尼崎市西長洲町1丁目1番15号
関西技術所 TEL 06-6487-1111(代表) FAX 06-6487-1300(代表)

ISO 9001 登録番号 JMADA-143
株式会社 修成建設コンサルタント
代表取締役社長 菅原 武之
本社 / 〒553-0002 大阪市福島区洲2丁目5番15号
TEL 06-6452-1081 (代表) FAX 06-6453-0777
事務所 / 兵庫・姫路・京都・追分・福井・奈良
和歌山・名古屋・岡山

＜卒業生＞
高澤慶文 (高専土木550年度)
徳久仁志 (高専土木554年度)
小塚元三 (摂大44年度)
藤原基章 (摂大47年度)
赤谷 洋 (摂大49年度)
川野昌徳 (摂大課程420年度)



株式会社 近代設計

21世紀を担う近代設計の高技術
自然環境と調和した豊かな近未来をめざす
コンサルティングエンジニア

橋梁・共同溝・道路・新交通・トンネル・下水道
(調査・計画・設計・研究・及び施工管理)

本社 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-9-16
Tel. (03) 3255-8961(代) Fax. (03) 3251-3783
大阪支社 〒541-0048 大阪市中央区瓦町3-1-4
(トーマ紡ビル3F)
Tel. (06) 6228-3222(代) Fax. (06) 6228-3221

大阪市内より30分圏内の
緑豊かなお墓地をご案内いたします。
お墓のことならどんな事でもお気軽におたずね下さい。

お墓の相談コーナー ☎0120 (305075)

(株) 太田石材店



本社 大阪市城東区古市1丁目23番20号
TEL 06-6930-5075

当社推奨霊園

總持寺霊園(茨木市)	真龍寺霊園(茨木市)
隆国寺墓地(吹田市)	服部徳風墓地(豊中市)
海印寺墓地(長岡京市)	竜の子霊園(奈良県)
王寺霊園(奈良県)	玉手山墓苑(柏原市)
東本願寺天満別院(北区)	飯盛霊園(四條畷市)
北拱霊園(豊能郡)	その他公営墓地

HC 21世紀をグローバルに拓く

株式会社 花村コンサルタント

業者登録

- ・建設コンサルタント業 第8662号
- ・地質調査業 第1760号
- ・測量業 第14744号
- ・土壤汚染指定調査機関 環 2003-2-30

代表取締役 花村 浩司 (高専C昭和47年卒)

本社 〒611-0042 京都府宇治市小倉町南浦9-8
TEL (0774) 21-5067 FAX (0774) 21-5068
大阪事務所 〒542-0012 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第三314
TEL (06) 6764-7438 FAX (06) 6764-7439

社会に貢献するものづくり企業

一般土木工事・建築外構工事・エクステリア工事・造園工事



西建土木株式会社

NISHIKEN

代表取締役 西山 賢浩 (摂大S61年卒)

〒661-0033 兵庫県尼崎市南武庫之荘8丁目32番7号
TEL: 06-6438-6005 FAX: 06-6438-5222
E-mail: nishiken@jasmine.ocn.ne.jp

「土木会」と「会員(正・準)」との双方向の情報の交換ならびに共有に、摂南大学土木会のホームページを活用しましょう。
会報(バックナンバー)のCD-ROMを無料配布もしています。詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.geocities.jp/setsudokai/>

摂南大学土木会は都市環境システム工学科のJABEE受審を全面的に支援しています。